

令和7年度  
事業報告書

社会福祉法人 咲福社会

自：令和7年4月 1日

至：令和8年3月31日

# 令和7年度事業報告

## 事業の概要

### 【社会福祉事業】

#### 1, 第一種社会福祉事業

なし

#### 2, 第二種社会福祉事業

- ◇ 就労継続支援 B 型事業「にっこにっこ倶楽部」
- ◇ 就労継続支援 B 型事業「にっこにっこファクトリー」
- ◇ 共同生活援助（グループホーム日和）「ホームかたくり」
- ◇ 相談支援事業「相談支援事業所 咲(~さき~)」

### 【公益事業】

- ◇ 地域生活支援事業（桐生市日中一時支援事業）

### 【収益事業】

なし

※ 令和7年度は、新たな「中期経営計画（令和7年度～9年度）の初年度であり、この中期計画が目指す「安定から成長へ」を合言葉に、限られた人・時間・資源などでより大きな価値を生み出す努力「生産性の向上」を目指しました。

## 事業状況（総括）

社会が大きく変わりつつある今、社会福祉法人の在り方として制度に基づく支援を行うだけでなく、地域のつながりと希望を育む存在でなければならない。

令和7年度から9年度までの中期計画において掲げた「安定から成長へ」の目標は、①地域福祉と多様化する利用者ニーズに応えるため良質なサービスを行う ②ワンストップサービス（相談受付から希望事業所案内、モニタリング）の提供 ③社会的なニーズの多様化による事業規模の拡大 ④DXによる管理体制の強化 ⑤適正な人事 の5大目標であり、中期計画の初年度である令和7年度は、限られた人・時間・資源などでより大きな価値を生み出すことを目指し生産性の向上に力を入れた。

具体的な取り組みとして、(1)法人本部とファクトリーの融合 (2)相談支援事業所 咲～さき～の開設 (3)にっこにっこ倶楽部の移転改装、改名などを実施した。

これらは、主体性の重視と満足度の向上を目指したものであり「量より質・価値」を高め、人にしかできない仕事へ力を集中させ、少ない負担でより良い成果が出せる環境づくりにつなげるものである。

このような取り組みを職員全員が良く理解し、法人目標に向かって各自が自分で考え行動できる形ができつつあり、多様化する利用者ニーズに応える努力や良質なサービスにつながる工夫を一人一人が実施し行動したことにより、利用者や地域から必要とされる事業所になっていると自負している。

今、現場に求められている「質的な転換」の背景として、令和8年度の報酬改定で一部サービスの基本報酬が下げられた。

理由として、障害福祉の総費用が急激に増加して障害福祉サービスの総費用額が膨らんでいることから、費用の伸び抑制が必要との認識である。また、この課題には提供されるサービスの質についても様々な課題が指摘されており、一部のサービスが適正化の対象となっている。今回の改正には、真摯に運営している事業所の一つとして誠に不本意でありモノ申したいところである。

しかし、今の社会とこれからの時代に求められるものとして「地域のサービスを量的に確保すればよいという時代から、サービスの質が厳しく問われる」時代であり、時代の要請に向き合って社会の期待に応えていくことが重要である。そのためには事業所の意識改革は必須となり、変化を恐れず、利用者から真に選ばれる質の高い支援を持続可能な形で実現することで当法人の事業に携わる全員が自信と誇りを持てる事業所にしていかなければならない。

## 法人役員・評議員

### 【役員、評議員】(令和8年3月31日現在)

役員	定数	氏名
理事	7	松島肇(理事長)、星野征孝(副理事長)、徳江剛、武藤光政 塩崎玲子、関口裕、松島弘平
監事	2	小倉基、森口恒雄
評議員	8	湯浅正雄、今泉登志子、小倉秀明、安田節治、石原浩子 小倉一、長田健一、板橋清一

## 理事会・評議員会開催状況

### 【理事会】

第29回 (定足数：理事7/7、監事2/2)

- 令和7年5月26日(月)
- ① 令和6年度事業報告及び決算関係書類と会計監査について
  - ② につきにつき倶楽部事業所用中古物件購入と銀行借入れについて
  - ③ 定時評議員会の招集について

第30回 書面決議

- 令和7年9月26日(金)
- ① 定款の変更について
  - ② 運営規定の変更について
  - ③ 経理規程の変更について

第31回 (定足数：理事7/7、監事2/2)

- 令和7年11月18日(火)
- ① 補正予算について
  - ⑥ 銀行借入れについて

第32回 (定足数：理事6/7、監事2/2)

- 令和8年3月27日(金)
- ① 令和7年度補正予算について
  - ② 令和8年度事業計画案について
  - ③ 令和8年度予算案について

## 【 評議員会 】

第 11 回 （定足数：評議員 7/8、監事 2/2）

- 令和 7 年 6 月 16 日(月) ① 令和 6 年度決算書類及び財産目録の承認について  
② につき につき 倶楽部事業所用中古物件購入と銀行借  
入れについて

第 12 回 書面決議

- 令和 7 年 9 月 26 日(金) ① 定款の変更について

## 内部監査結果

令和 8 年 5 月 22 日（金）に当法人の監事による令和 7 年度事業報告及び決算諸表の監査を実施しました

## 経営状況について

### 1, 計画の達成状況

「令和 7 年度事業計画」

【 重点目標に対するの評価 】 評価：できた○、だいたいできた△、できなかった×

年間計画	取り組み	評価
学びの場・日中活動種類の多 角化	e スポーツの本格導入	△
	清掃活動の導入	○
日中一次支援の提案	知名度の低い日中一次支援の周知と利用促進の実施	×
ワンストップサービスの提供	相談支援事業の開設	○
社会的ニーズに応える事業 規模の拡大	生活介護・放課後デイの開設に向けた実態調査、と開設	△
	ファクトリーの増築・隣地購入、倶楽部の業容拡大	△
DX 事務の電子化、共有化、一元 化による管理体制の強化	本部機能の強化による規程・マニュアルの整備	△
	情報の共有化できる共有フォルダの作成	△
	事務集約・電子化による一元管理	△
適正な人事を行う	利用者に偏りのない人員配置の実施	○
	人事評価制度による給与体系の見直し	×

## 2, 借入状況

### 【法人借入金償還状況】 (単位：千円)

借入先	期首残額	当期借入額	当期返済額	借入残額	備考
桐生信用金庫	27,209		1,764	25,445	ホームかたくり
桐生信用金庫	10,000		668	9,332	運転資金
足利銀行	21,131		2,580	18,551	ファクトリー
足利銀行	9,332		2,004	7,328	運転資金
足利銀行		4,500	225	4,275	倶楽部購入資金
足利銀行		11,000	488	10,512	倶楽部改装資金
福祉医療機構	10,000		0	10,000	倶楽部コロナ
福祉医療機構	8,500		0	8,500	ファクトリーコロナ
合計	86,172	15,500	7,729	93,943	

(借入残高:前年比+7,771)

## 3, 収支状況

### 【法人全体の収支】前年対比 (詳細は別紙,事業活動計算書の通り)

収益となる主な収入である障害福祉サービス等事業収益は 6,244,811 円増加の 111,776,087 円、就労支援事業収益は 1,303,043 円増加の 12,631,033 円となりました。

費用の支出においてサービス活動費用の人件費は 1,817,405 円増加の 79,162,100 円、就労支援事業費用は 269,628 円増加の 13,005,238 円となりました。

人件費において、新事業の開設に伴う人員増による増加はあったものの、全体的な生産性の向上により 1,817,405 円の増加に留まった。また、事業費・減価償却費の増加においては「にっこにっこ倶楽部」の移転改修と補助金による送迎車の入替等であり前向きな投資によるものである。

このように、二大収入である障害福祉サービス等事業収入と就労支援事業収入が、報酬改定や各事業所の努力により前年比大きく増加したことにより、営業利益となるサービス活動増減差額は 3,519,352 円増加の 6,118,054 円となりました。

また、最終利益である当期活動増減差額は特別費用としてにっこにっこ倶楽部移転に伴い、出張所「街なかカフェにっこにっこ」閉店による固定資産処分損(減価償却残)4,504,005 円を償却した結果 903,426 円の増加となりました。

以上のように、今年度も厳しい環境にも耐えられるように経営基盤を強化する 1 年と位置づけ、(1)支援の多角化、(2)事業規模の拡大、(3)管理体制の強化を掲げ、今後につながる事業目標に向かって邁進しました。

## 職員の状況

### 【 職員配置状況 】（常勤換算方式による人員数）

	管理者・ サビ管	主任相談支 援専門員	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成 指導員	世話人	夜間支 援員	合 計
にっこにっこ倶楽部	1.1	0	3.5	1.8	1	0	0	7.4
カ ファクトリー	1	0	1.9	3.1	1	0	0	7.0
ホームかたくり	0.3	0	1	0	0	1.1	1.0	3.4
相談支援事業所 咲	0.1	1	0	0	0	0	0	1.1
合計	2.5	1	6.4	4.9	2	1.1	1.0	18.9

### 【 資格等の取得状況 】（非常勤職員除く、複数の資格を持つ職員もいます）

	社会福祉士	介護福祉士	社会福祉主事	介護職員初任者 (ヘルパー1・2)	福環コーディ ネーター2	福祉用具専門 相談員
にっこにっこ倶楽部	0	2	2	3	1	1
カ ファクトリー	1	2	2	4	0	0
ホームかたくり	0	0	0	0	0	0
相談支援事業所 咲	1	1	1	0	0	0
合計	2	5	5	7	1	1

### 【 職員状況 】（正社員：退職者1名を除く）

年	人員(男/女)	平均勤続年数	平均年齢	平均月収
令和7年	13人(7/6)	7年1か月	49.9歳	323,887

### （パート・世話人・夜間支援者）

年	人員(男/女)	平均勤続年数	平均年齢	平均月収
令和7年	10人(3/7)	4年6か月	61.6歳	112,021円

### 【 人件費率 】

70.8%

## 利用者の状況

### 【 定員及び現員 】 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

にっこにっこ倶楽部		にっこにっこファクトリー		ホームかたくり		合 計	
定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
25	32	20	31	6	6	51	69

### 【 利用状況 】

#### 利用率 (令和 8 年 3 月)

にっこにっこ倶楽部	にっこにっこファクトリー	ホームかたくり	合 計
107.2%(26.8 人)	102%(20.4 人)	100%(6 人)	104.3%(53.2 人)

#### 年間利用状況

施設名	延べ利用者数	営業日数	1日平均利用者数	利用率
にっこにっこ倶楽部	6,020 人	253 日	23.8 人	95.2%
〃 ファクトリー	5,445 人	253 日	21.5 人	107.5%
ホームかたくり	2,029 人	364 日	5.6 人	93.3%
合 計	13,494 人	—	—	—

### 【 年齢別状況 】

#### にっこにっこ倶楽部 (現員 32 名)

	18 歳～ 25 歳	26 歳～ 30 歳	31 歳～ 40 歳	41 歳～ 50 歳	51 歳～ 60 歳	61 歳～ 70 歳	71 歳 以上	合計	平均 年齢
男性	4	9	1	3	4	1	1	23	38
女性	4	1	2	0	2	0	0	9	34
総数	8	10	3	3	6	1	1	32	36

#### にっこにっこファクトリー (現員 31 名)

	18 歳～ 25 歳	26 歳～ 30 歳	31 歳～ 40 歳	41 歳～ 50 歳	51 歳～ 60 歳	61 歳～ 70 歳	71 歳 以上	合計	平均 年齢
男性	5	3	2	2	4	2	0	18	40
女性	4	0	3	2	3	1	0	13	40
総数	9	3	5	4	7	3	0	31	40

### ホームかたくり（現員6名）

	18歳～ 25歳	26歳～ 30歳	31歳～ 40歳	41歳～ 50歳	51歳～ 60歳	61歳～ 70歳	71歳 以上	合計	平均 年齢
男性	0	0	1	2	3	0	0	6	48
女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	0	0	1	2	3	0	0	6	48

## 行事報告(研修他)

### 【行事】

事業報告会は、社会ニーズを鑑み書面による報告で対応した。

### 【研修】

1、職場内研修は、各事業所が必要と思われる研修を取り上げ、年間計画により実施した。

#### にっこにっこ倶楽部

開催月	研修内容	開催月	研修内容
4月	施設職員としての基本姿勢	10月	インフルエンザ
5月	感染症(新型コロナ、ノロウイルス等)	11月	SST(社会生活スキル・トレーニング)
6月	事故対応(ヒヤリハット)	12月	ストレスマネジメント
7月	業務のレベルアップ(チームワーク)	8/1月	自閉症スペクトラム
8月	精神疾患	2月	障害者虐待防止
9月	強度行動障害	3月	意思決定支援(権利擁護)

#### にっこにっこファクトリー

開催月	研修内容	開催月	研修内容
4月	施設職員としての基本姿勢(チームワーク)	10月	感染症対策
5月	災害時のBCP	10月	施設における感染症対策(BCP演習)
6月	意思決定支援	11月	苦情解決の仕組みについて
7月	障がい者虐待防止	8/1月	BCP(自然災害)について
9月	ヒヤリハットの検証	2月	感染症発生時訓練
9月	障がい者虐待防止法・身体拘束	3月	事業所内生産活動

新規採用者に対しては、随時、「障害者支援の基本姿勢」についての内部研修を実施している。

2, 外部研修は、職員のスキルに合わせた研修と、職員自ら必要と思う研修を主体的に希望し参加している。

開催月	主催	研修会名	参加人数
4月	群馬県知的障害者福祉協会	令和7年度初任者研修	1名
5月	群馬県社会就労センター協議会	工賃向上研修会	1名
5月	(株) 夢育て	ワークショップ(認知能力を伸ばす方法)	1名
7月	広済会つつじヶ丘学園	意思決定支援の基本と実践	1名
8月	群馬県知的障害者福祉協会	夏季特別研修会	2名
9月	群馬県安全運転管理協会	安全運転管理者等講習	1名
9月	群馬県社会就労センター協議会	刈払い機取扱安全教育研修	1名
9月	群馬県福祉マンパワーセンター	福祉職員キャリアパス研修(チームリーダー)	1名
12月	群馬県社会就労センター協議会	トラクター操作技術研修会	1名
8/1月	厚生労働省	社会福祉連携推進シンポジウム2026	1名

(1) 各種委員会の実施状況

開催月	主催	研修会名	参加人数
7/9月	咲福社会本部	虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会	3名
8/3月	咲福社会本部	感染対策委員会	3名

(2) 地域連携推進会議の実施

開催月	主催	会議内容	参加人数
7/10月	グループホーム日和	事業所紹介や現在と今後の取組みについて	8名

## 各事業所の状況

### 「にっこにっこ倶楽部」

#### 1. 1年を振り返って

25名定員のところ、4月に1名増え、在籍28名（実質26名利用）でスタートしました。その後、6月、11月、2月に1名ずつ、3月には2名の方が新しく入り、33名（実質30名利用）になりました。利用率としては、年間の月平均は23.7名、94.8%でした。総利用者数は5970名でした。今年度は辞める人が少なく、少しずつですが、利用者を増やすことが出来ました。まだ、受け入れは可能なため、更に新規の方を増やしたいと考えています。

作業面では、工夫を凝らし、行なう作業がないようなことがないようにし、農作業、カフェ、下請け作業をしっかりと行なうことが出来ていました。

今年度、就職、ステップアップするものが1名もおりませんでした。今後は就労やステップアップ出来る方を出せるよう支援していきたいと思えます。

#### 2. 利用者状況

定員	25名
現員（契約者数）	33名（実質30名）
利用率 年間平均	94.8% （平均利用者数 23.7名）

#### 3. 平均工賃

平均工賃額	令和7年度	11,515円
	令和6年度	11,770円
平均工賃目標額	令和8年度	12,000円
	令和7年度	12,000円

平均工賃額は前年度に比べ、昨年度は算出方法も変わり、アップしたのですが、今年度は255円ダウンし、目標額をクリアすることが出来ませんでした。そのため、来年度の平均工賃目標額は同額の12,000円としています。

#### 4. 就労収入 売り上げ

- 実施作業 (1) 農作業 安心安全な野菜作り (塩原圃場、東町花輪圃場、  
市民農園管理) \*手作りのボカシ肥料を用いた農法  
(2) っこにっこカフェ (喫茶、野菜乾燥品、弁当作り、食品梱包他)  
→9月閉店  
新事業所で11月より弁当作り、野菜乾燥品作業を再スタート  
(3) 軽作業 (下請け) ①自動車部品組立  
②菓子折り箱作成  
③自動車関係物品梱包  
(4) 清掃作業 寺の墓地の通路の清掃 \*不定期 (2, 3カ月に1回)

令和7年度 活動収入 7, 475, 127円  
※令和6年度 6,308,884円

#### 5. その他

年度初めの4月に倶楽部とファクトリー間で職員の人事異動が行われ、新たな体制でスタートを切りました。試行錯誤しながら、新しい考え方、やり方を取り入れながら、支援を行ない始めました。そこに、更に大きな変化として、秋に移転することになり、それに向けての諸々の準備が始まりました。老朽化等の理由により、カフェも閉店しましたが、新しい事業所で弁当作り、野菜乾燥等は継続して行うことにしました。リフォーム工事の段階から携わり、よりいいものを求めていきました。11月までのリニューアルオープンまでの準備、初めての引越等し等に、戸惑いながらも新しい事業所での新しい取り組み方についても検討し、方向づけを行ない、新規オープンの日を迎えました。元のっこにっこ倶楽部は「さきやさい畑」と名前を変え、主に野菜関係の作業を行なう場所とし、昼食も2か所で食べることにしました。分かれることのメリット、デメリットがあることも感じながら、前向きに有効に利用していくことを実践しています。半年経った今でも試行錯誤していますが、より良い方向を探っています。新たな取り組みを行ない、物販の充実を図りたいと考えています。

農業の方では、季節の野菜作りと2年目のお米作りを天候、病気、害虫、動物被害等に苦慮しながらも工夫して、認定農業者として、しっかり行なっていきたいと考えています。自動車部品の組み立てや菓子セットの箱の組み立て等の下請け作業、弁当作り・野菜乾燥のキッチンもそれぞれしっかり行ない、eスポーツ、レクリエーションの充実も図っていきたいと考えています。

今年度も、みなさんの良さを引き出して多くの安心笑顔を観たいと思います。

【にっこにっこファクトリー】

就労継続支援B型事業 定員20名 契約者数30名 (R8.3.31)

1. 令和7年度の利用状況・作業売上・工賃

<利用状況>

令和6年度 にっこにっこファクトリー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	平均/月	平均/日
開所日	22	22	20	23	18	21	23	21	20	20	20	21	251		
利用数	463	477	457	502	359	455	509	480	449	425	441	461	5478	456.5	21.8247012
利用率%	105	108	114	109	99.7	108	111	114	112	106	110	110	109.1		

令和7年度 にっこにっこファクトリー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	平均/月	平均/日
開所日	22	21	21	23	19	22	23	20	20	20	20	22	253		
利用数	492	454	469	510	406	484	497	416	436	428	405	447	5444	453	21.5
利用率%	112	103	114	109	99.7	108	111	104	109	107	101	101	107		

<作業売り上げ>

令和5年度

総額

下請け軽作業・年間売上金額	1,477,655	4,956,006	軽作業前年度1,406,969円 菓子前年度3,943,070円
ジャム・菓子製造販売・年間売上金額	3,478,351		

※令和4年度5,350,039円

令和6年度(R6.4月～R7.3月)

総額

下請け軽作業・年間売上金額	1,167,778	5,511,939
ジャム・菓子製造販売・年間売上金額	4,344,161	

令和7年度 (R7.4月～R8.3月)

総額

下請け軽作業・年間売上金額	1,388,233	5,829,029
ジャム・菓子製造販売・年間売上金額	4,440,796	

<工賃>

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	総額	平均工賃
工賃額	246,036	253,778	244,670	259,404	198,149	246,012	2,958,551	11,094
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		6年度目標工賃
工賃額	268,927	262,895	249,010	236,505	244,575	248,590		12,000

※令和5年度 2,712,230円 平均工賃11,025

令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	総額	平均工賃
工賃額	256,800	243,200	256,225	271,300	219,925	253,825	2,919,500	11,264
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		7年度目標工賃
工賃額	258,725	225,950	233,575	232,000	222,350	245,625		12,000

2. ファクトリー活動内容

- ① 作業
  - 厨房作業（ジャム・菓子製造、販売）
  - 軽作業（宮原合成、ヒノデ産業、太陽印刷、アイフォス工業）
- ② 社会学習（SST・グループ談話・ぐるーぷわーく・個別学習）
- ③ 事業所内相談支援（利用者さんからの聞き取り）
- ④ 利用者さん向け勉強会（苦情受付・感染症・虐待防止法）
- ⑤ 事業所イベント（カラオケ・新年会他）

3. 作業（厨房作業・軽作業）

- ① 厨房作業（ジャム・菓子製造・包装・販売）
  - ・ 物価高騰（材料費等）の影響を受けている。
  - （課題）
    - ・ 店舗への集客力を高めるための方策。
    - ・ 販売・受注増に向けての方策。
    - ・ 新商品の開発
- ② 軽作業（宮原合成・ヒノデ産業・太陽印刷・アイフォス工業）
  - ・ 年間を通して、安定した作業量を確保することができる。
  - （課題）
    - ・ 安定した作業量は確保されてはいるものの、スポット的に作業が無くなってしまう  
→利用者さん個別に準備した作業提供（作業訓練となるものも含めた作業）。  
→作業訓練進行中
- ③ 社会学習・事業所内相談支援・利用者さん勉強会
  - ・ 事業所内相談支援（利用者さんからの聞き取り）からの課題解決。

4. 工賃 <令和8年度目標工賃額 12,000円>

工賃向上は一朝一夕には難しい課題である。厨房商品をより付加価値の高い商品として販売単価向上といった目標を掲げながらも、今できることを着実に実践して行く

ことで工賃向上につなげたい。

5. その他

外壁、内壁にひび割れあり。今後、補修が必要になってくる可能性あり。

6. まとめ

ファクトリーを利用していただいている利用者さんに対し、利用を続けたいと思っ  
てもらえる支援の充実を目標に続けていくことに変わりはない。

しかしながら、利用者さんのニーズにこたえるサービスを維持しつつ、更なるサービ  
ス内容の充実には現場職員への負担が増すばかりという現実がある。

とはいえ足踏みしているばかりでは、地域の中で選ばれる事業所とはなりえなくな  
ってしまう。

今後については、将来像をもったの取り組んでいくことはもちろんではあるが、今で  
きること一個々の障害特性に応じた支援プランを提供し、利用者個人の能力を最大限  
に引き出すことーこれを変わず実践し続けていきたい。

令和8年度、当事業所を利用される利用者さんが、作業所生活を通して、経験や生活  
の幅を広げ、豊かで充実した生活につながる支援を心がけるを基に実践に努めていき  
たい。

「グループホーム日和」

入居者に関しては、10月に1名が退所されましたが、2月に空きが埋まり定員6名が利  
用、それぞれ過ごしています。透明性や質の確保を目的とした地域連携推進会議を10月  
に行い、3月には花見も兼ねてかたくりさくら祭りに参加しました。また警備会社を入れ  
る事によって宿直の日数を減らし自立性を高めてもらっているのですが、それにより利  
用者が不安を感じたりならぬよう、配慮した支援を行っていきたいと思います。

年間利用総数は2,029人、1日平均利用者数が5.57人、平均利用率92.8%、障がい福祉  
サービス等事業収入は14,233,491円となっています。

	R7.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R8.1	2	3	合計	平均利用日
開業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	30	364	30.3
A	30	31	30	31	28	30	31	30	27	28	28	31	355	29.6
B	30	31	30	31	31	30	31	0	0	0	0	0	214	17.8
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	31	45	3.8
D	30	27	30	31	28	29	31	30	27	28	28	31	350	29.2
E	30	31	30	31	28	30	31	30	27	28	28	31	355	29.6
F	30	31	30	31	28	30	31	30	27	28	28	31	355	29.6
G	30	31	30	31	28	30	31	30	27	28	28	31	355	29.6
合計	180	182	180	186	171	179	186	150	135	140	154	186	2029	
平均利用人数	6.00	5.87	6.00	6.00	5.52	5.97	6.00	5.00	4.35	4.52	5.50	6.20	5.57	
給付費 (単位千円)	877	882	882	915	716	884	910	760	692	711	805	966	10000	

## 相談支援事業所「咲（さき）」

令和7年4月より新たなサービスとして、2つのB型事業所、グループホームに続いて始めたサービスが相談支援事業です。以前より法人に「相談支援事業所」を開所したいと考えていましたが、このタイミングでグループホームかたくりに併設して開所し、主任相談支援専門員による相談業務を始めました。

主任相談支援専門員が利用者の話を聞き、気持ちに寄り添いながら必要とされている福祉サービス、医療などにつなげていくことを提供していきます

担当している利用者の定期的なモニタリング、サービスの更新の他に、市の相談員連絡会・事務局会議、医療的ケア児等コーディネーター研修、就労支援部会等、関係する会議・研修に出席し、連携していき、情報交換、受入れ状況等を行なうことも大事な役割となっています。40件の利用者でスタートしましたが、受け入れ可能な人数まで新規を受け入れ、当法人のサービスが適切と思われる相談者には当法人のサービス（B型事業所、グループホーム）を紹介し、見学・体験実習を行ない、新規利用に繋がればと思います。既存の利用者の中にも相談支援事業所の都合やセルフプランの利用者に対して、担当してもらうことも行なっています。

2年目に入り、機能強化型にしていく検討も始めています。